

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社武蔵野	事業所名	朝霞工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	自動車温暖化対策計画書の提出の依頼と提出状況の確認を行っている。			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認						
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	グリーン経営を取得した輸送事業者が主に運搬している。			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化	物流拠点を活用し配送商品の集約を図り、効率配送を行っている。			○	○	○
()							
04	積載率の向上による輸配送の効率化	商品容器の形態変更により積載率向上を図っている。			○	○	○
(01)	商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上						
04	積載率の向上による輸配送の効率化	同方向、同時間の輸送に対しては混載対応、又、二温度帯の混載も実施している。			○	○	○
(02)	混載便の利用や共同輸配送の取組						
04	積載率の向上による輸配送の効率化	貨物事業者に対し2t・4tを荷量に合わせ使用するように依頼している。			○	○	○
(03)	輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注						

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	定時納品・配送促進の為に納品・出荷時間等の制度化を図っている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	動態管理システムにて配送車の位置情報を掴み、渋滞情報と連動して活用することで渋滞を回避している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	出荷スケジュールを定め、円滑な出荷体制を取る。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	最新規制適合ディーゼル車やハイブリッド車の導入を要請している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ講習の実施要請を行い、ミーティングや掲示物等で教育を行って貰っている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	低燃費車の導入も進んできており、エコドライブの社内推進活動を行って貰っている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	路上駐車禁止の情報を定期ミーティングにて報告、バッティングを避けるため待機場所にて待機させ、コントロールをしている。また、合わせて構内でのアイドリングストップのポスターを掲示している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	動態管理システムにて配送車の位置情報を掴み、渋滞回避など効率的な走行を行うことで温室効果ガスの削減に寄与している。	○	○	○
----------------------------------	---	---	---	---

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社武蔵野			
取組措置	事業所名	埼玉工場		
		R3	R4	R5
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	自動車温暖化対策計画書の提出の依頼と提出状況の確認を行っている。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	グリーン経営を取得した輸送事業者が主に運搬している。	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	物流拠点を活用し配送商品の集約を図り、効率配送を行っている。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	商品容器の形態変更により積載率向上を図っている。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	同方向、同時間の輸送に対しては混載対応、又、二温度帯の混載も実施している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	貨物事業者に対し2t・4tを荷量に合わせ使用するように依頼している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	定時納品・配送促進の為に納品・出荷時間等の制度化を図っている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	動態管理システムにて配送車の位置情報を掴み、渋滞情報と連動して活用することで渋滞を回避している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	出荷スケジュールを定め、円滑な出荷体制を取る。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	最新規制適合ディーゼル車やハイブリッド車の導入を要請している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ講習の実施要請を行い、ミーティングや掲示物等で教育を行って貰っている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	低燃費車の導入も進んできており、エコドライブの社内推進活動を行って貰っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	路上駐車禁止の情報を定期ミーティングにて報告、バッティングを避けるため待機場所にて待機させ、コントロールをしている。また、合わせて構内でのアイドリングストップのポスターを掲示している。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	動態管理システムにて配送車の位置情報を掴み、渋滞回避など効率的な走行を行うことで温室効果ガスの削減に寄与している。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社武蔵野	事業所名	埼玉麵工場	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	自動車温暖化対策計画書の提出の依頼と提出状況の確認を行っている。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	グリーン経営を取得した輸送事業者が主に運搬している。			○	○	○	
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	物流拠点を活用し配送商品の集約を図り、効率配送を行っている。			○	○	○	
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	商品容器の形態変更により積載率向上を図っている。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	同方向、同時間の輸送に対しては混載対応、又、二温度帯の混載も実施している。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	貨物事業者に対し2t・4tを荷量に合わせ使用するように依頼している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	定時納品・配送促進の為に納品・出荷時間等の制度化を図っている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	動態管理システムにて配送車の位置情報を掴み、渋滞情報と連動して活用することで渋滞を回避している。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	出荷スケジュールを定め、円滑な出荷体制を取る。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	最新規制適合ディーゼル車やハイブリッド車の導入を要請している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ講習の実施要請を行い、ミーティングや掲示物等で教育を行っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>低燃費車の導入も進んできており、エコドライブの社内推進活動を行って貰っている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>路上駐車禁止の情報を定期ミーティングにて報告、バッティングを避けるため待機場所にて待機させ、コントロールをしている。また、合わせて構内でのアイドリングストップのポスターを掲示している。</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減</p> <p>()</p>	<p>動態管理システムにて配送車の位置情報を掴み、渋滞回避など効率的な走行を行うことで温室効果ガスの削減に寄与している。</p>	○	○	○